

兵庫県日本海側の全ての自治体（豊岡市・香美町・新温泉町）への 原発の使用済燃料の中間貯蔵施設に関するアンケート結果

3市町全てが中間貯蔵施設を「受け入れるつもりはない」と回答

京都府の宮津市・舞鶴市に続き、兵庫県日本海側の自治体も
関電の中間貯蔵施設を受け入れる意思はない

関西電力は、福井県知事の強い要請を受けて、原発の使用済燃料の中間貯蔵施設を福井県外に立地するための計画地点を今年（2018年）中に公表すると発表しました。中間貯蔵施設は、大飯原発3・4号の再稼働と事実上の引き換え条件となり、今後も原発に依存し続けるためのものです。「中間貯蔵」といいながら、その後の搬出先も決まっておらず、核燃料サイクルの破たんの中で、永久の核のゴミ捨て場となります。

若狭の原発に最も近い京都府の宮津市、舞鶴市は2015年12月に立地は受け入れられないと表明し、京都府知事も府内では受け入れないと明言しています。また昨年11月にも、私たちの申入れに対して京都府は「一貫して受け入れ反対の姿勢は変わっていない」と述べています。

そのため今回、若狭の原発に近い、兵庫県の日本海側の全ての自治体（豊岡市・香美町・新温泉町）にアンケートを行いました。関電が立地の条件として「港がある」ことをあげているためです。

回答は以下のように、3市町とも同様の結果となりました。これによって、若狭の原発に近い日本海側の京都府と兵庫県の自治体は、関西電力の中間貯蔵施設を受け入れる意思のないことがはっきりしました。

自治体の皆さまには、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

質問1-1	関西電力から、中間貯蔵施設について説明を受けたことはありますか
回答	3市町とも「ない」

（質問1-2「説明を受けたことがある場合」は該当なし）

質問1-3	今後説明の申し出があれば聞いてみたいですか
回答	3市町とも「聞きたいとは思わない」

質問2-1	中間貯蔵施設の立地受け入れについて
回答	3市町とも「受け入れるつもりはない」

質問2-2	それぞれ理由やご意見
回答	「住民の安全・安心を守るため、受け入れることができない」

[アンケート実施方法など]

対象：若狭の原発に近い、兵庫県日本海側の全ての自治体3市町（豊岡市、香美町、新温泉町）
期間：2018年1月31日～2月9日 回答率：100%
実施方法：アンケート用紙をFAXで送り、回答もFAXで受け取る
実施主体：避難計画を案ずる関西連絡会



グリーン・アクション 京都市左京区田中関田町22-75-103
TEL:075-701-7223 Fax:075-702-1952

美浜の会

大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階
TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581

原発なしで暮らしたい丹波の会 京都府南丹市園部町船岡薬無8-2 こだま方
TEL:090-3862-2468

脱原発はりまアクション TEL:079-421-2853

原発防災を考える兵庫の会 TEL:080-5707-7908